※青字はチェックを受けるごとに消していくこと

タイトル

氏名

**Abstract**

1. 研究の背景

2. 研究する問題，問い

3. 研究の目的

4. 研究の核心となる方法と結果

5. 主要な研究結果

6. 研究の結論

7. 研究の意義

**Introduction** （論点を明示する）

1. Known (general topic)
   * 文献を多数引用する。論点に関する重要な論文を選択すること。
2. Unknown (specific topic):
   * Unknownのシグナルとなる語句の例

“However, …”

「しかし」

1. 論点の同定（Introductionで最も重要）
   * 論点のシグナルとなる語句の例

“Here we show …”

“To answer this question, …”

“To determine X, we …”

「そこで」

* + 何に対して答えを出すべきなのか、イシュー（Key Question）を明記する。
  + 可能であるならスタンスを取る（仮説を立てる）
  + 何故この論点は本質なのか、この論点に解を出せば何がいいのか。

1. 研究手法
   * 論点に対して答えを出すにあたり、何を行ったのかを簡潔に。詳細はMaterials and Methodsへ。
2. 論点に対する答え
   * 要するにこの仕事で何がわかったのかをIntroductionの締めの1行として書く。

**Materials and Methods**

* 結果（データ）はこのセクションには書かない。Resultセクションに書く。
* Material
  + いつ、どこで、どのようにしてデータを集めたか
* Methods
  + 時系列順に記述する
  + 論点に答えるために何をしたか書く
  + 個々の実験操作、データ解析の目的を説明する
  + 読者が再現できるよう十分に詳述する

**Result**

* Materials and Methodsの記述に対応したメッセージ（実験結果）を書く
* ただし重要度の順序に従って書く。特に、この論文の論点に答えるための結果を先頭パラグラフに書く。
* Resultsセクションではデータを解釈しない。要約のみ行う。
* Discussionで扱わないデータを大きく扱わないこと。本旨から外れる。

**Discussion**

* 導入部（第1パラグラフ）：Introductionで示した論点に答える。答えを裏付ける実験結果に言及する。
* 中間部：重要度の順にtopic sentenceを並べ、考察する
  + 他の研究者の結果との相違点を書く（文献引用）
  + 論点と矛盾する実験結果の説明について書く
  + 予想外の実験結果があれば書く
  + 限界と弱点を述べる
  + 研究の新規性について書く
* 終末部：論点に対する回答を繰り返す

書き終わった後、以下にYESと言えれば良いDiscussionといえる。

* 最初に提示した論点・仮説について結論を得たか
* 結論を他の研究と比較したか
* 手法の限界を議論したか
* 結論が意味することをよく考えたか
* 問題点に取り組むために今後必要となるステップを示したか
* 方法の改善策を提案したか

**Acknowledgements**

**References**